

クイズ：1887年東北本線が郡山まで開通し郡山駅が設置されましたが、この年は、ある出来事がありました。その出来事とは？

①万国博覧会 ②皆既日食 ③オリンピック

# S.P.V つうしん

スペースパークボランティアの会

スペースパークボランティアの会 会誌

第76号 2025年(令和7年)6月 発行

福島県郡山市駅前2-11-1 TEL024-936-0201

高柳電設工業スペースパーク(郡山市ふれあい科学館)内



S.P.V ホームページ



## ★2025年ボランティアまつり

今年も3月1日、2日の2日間、大人も子どもも楽しめるボランティアまつりを開催。紙芝居、昔遊び、科学工作、折り紙教室、星座早見盤と日時づくり、天文写真展示、似顔絵作成、鉄道ジオラマ・写真展示と多様な内容でした。

紙芝居は拍子木の音が鳴り響き、ベテランの池田さんの抑揚をつけた語り口に引き付けられました。昔遊びは、お手玉、けん玉、だるま落としと家族で楽しみましたが、今回の目玉は「皿回し」でした。なんと名人の会長が手本を示し、大人の方が必死で回すと、大きく盛り上がりました。帰り際に「100円ショップで売っていますか？」と聞かれ感無量です。折り紙教室では、折り紙先生のご夫妻が、2日間とても丁寧に対応され、ずっと席を離れない方もおりました。



工作では、キラキラシャボン花を作り、子ども達は回しながら楽しそうに歩いていました。星座早見盤作りでは、



星について知ることが出来、有意義でした。鉄道コーナーでは貴重なジオラマと写真で話題に事欠きませんでした。上記のコーナーをスタンプラリーでまわると星のロマンある写真がプレゼントされ好評でした。天文の木村画伯はお子様たちの似顔絵を一日になんと20名も描きプレゼントされていました。

皆さん本当にご苦労様でした。そして、楽しい一日をありがとうございます。

(案内・科学グループ:東條)

## ★SPV講演会・表彰式・総会の報告

2025年3月16日(日)にSPV講演会および活動表彰式、総会を行いました。SPVの目的のひとつは会員の生涯学習であり、今回は郡山市きらめき講座を利用し「郡山市のまちづくり」をテーマに聴講しました。郡山市の成り立ちと魅力、復興及び未来に向けた取り組み、人口減少時代に向けた取り組み、そして郡山市制100年が主な内容でした。その後、例年通り活動表彰式と総会、終了後に茶話会を行いました。

(案内・科学グループ:熊本)

## ★令和6年度ボランティア総会

今回の総会の講座で安積開拓について学ぶことができ、大変有意義な時間だったと思います。総会後の茶話会もとても楽しく、また次回、茶話会を開催してほしいです！！

(案内・科学グループ:伊藤)

## ★SPV 案内・科学グループミーティングに参加して

4月20日(日)に令和7年度第1回ミーティングが行われ、新体制や今年度の行事等について報告がありました。2ヶ月毎に変わるカウンター工作、6月のグループツアー、7月の暑気払い等、1年間の予定は盛りだくさんです。また、直近3月に行なったボランティアまつり、科学館イベント「キッズルーム」、総会、講演会についての反省と今後について皆で話し合いをしました。私はボランティアまつりで使用しているゴザが古くなっているので、座っても足が痛くならないマットにならないか提案させていただきました。



それから初めて参加した3月9日の「キッズルーム」では、「昔遊び」の紙でつぼうはとても大きな音が出て驚くやら楽しいやらで、来場者の方にもとても人気だったことも伝えさせていただきました。私も紙でつぼうに興味を沸き、家で何種類かの紙を折って音を試してみました。紙は軟らかすぎても硬すぎても駄目で大きさはB4サイズ位が丁度良く、大きな音が出ました。次回行うボランティアの昔遊びで紹介して、皆さんにも楽しんでほしいと思いました。

(案内・科学グループ:熊田)

## ★大安場史跡公園での大観望会

1月19日(日)の夜、大安場史跡公園駐車場で天文グループの方たちが案内・科学グループのために観望会を開いて下さいました。人生初めての望遠鏡で天体を見る体験をし、その美しさに感動しました。金星は丸く見えると思っていたのですが、半月のような形で明るく輝いていました。金星の左手には土星が見え、環が横棒のように見えました。木星は横縞と4つの衛星がきれいに並んで見えました。火星は本当にオレンジ色なんだと確認できました。ベガはキラキラまたたいて綺麗でした。天文グループ様たちのお陰でこのような貴重な学びを経験することが出来ました。寒い冬の夜、お忙しい中、本当にどうもありがとうございました。感謝です。またこのような機会を与えていただいたスペースパークボランティアの会にもありがとうございます。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。天文グループと案内・科学グループの交流もとても楽しいです。

(案内・科学グループ:岩崎)

## ★個人観望会の活動報告(栃木県大田原市)

「初めて望遠鏡で見た!」「月がボコボコしている!」「土星が写真と同じ!」

駅前観望会参加者のこのような声は、50年以上前に自分が初めて望遠鏡で星を見せてもらった時の感動と同じです。そして、より多くの方に同じ気持ちになってもらいたい、感動してもらいたいという思いから個人的にも観望会を主催しています。

「街なか星空観望会実行委員会」を立ち上げ大田原市内の公園を会場に5年前から観望会を開催しています。メンバーは私だけですが、公園の使用許可を受けるのは個人では難しいので団体活動としています。日程は不定期で、多い年は年間に50日くらい開催しています。皆さんに星を見てもらいたいと始めた観望会ですが、日程を決めるために天文イベントも良く確認するようになりました。

皆さんに正しく新しい情報を提供するために自分のスキルも高めていかなければと思っています。

(天文グループ:佐藤)

クイズの答え:② 1887年8月19日に北関東、新潟県、福島県で皆既日食の発生が予報されました。

スペースパークボランティアの会 (SPV: Space Park Volunteer)とは・・・  
わたしたち、「スペースパークボランティアの会 (S.P.V)」には、80名弱の会員が登録しており、ふれあい科学館を活動の中心舞台として、各フロアや館イベントにおける、展示物の説明や科学工作の指導、天体観望会のお手伝いなど”楽しく”ボランティア活動を行っています。  
常時会員募集中です。科学館にご連絡ください。出張活動依頼もご相談ください。